

# 2022年3月期 (第20期) 決算説明会

2022年5月18日

株式会社ジーダット



# 1. 2022年3月期 決算概要

## 2. 2023年3月期 計画・業績予想

# 2022年3月期のポイント

売上高：19.7億円（対前年比8.7%増）

営業利益：2.1億円（同63.0%増）、経常利益：2.7億円（83.5%増）

海外顧客との大型商談(約8億円/5年間)を獲得

半導体市場活況によりデバイス設計受託サービスが復調

売上伸長 + 利益率向上 + 固定費堅調 +  $\alpha$  ... で大幅増益

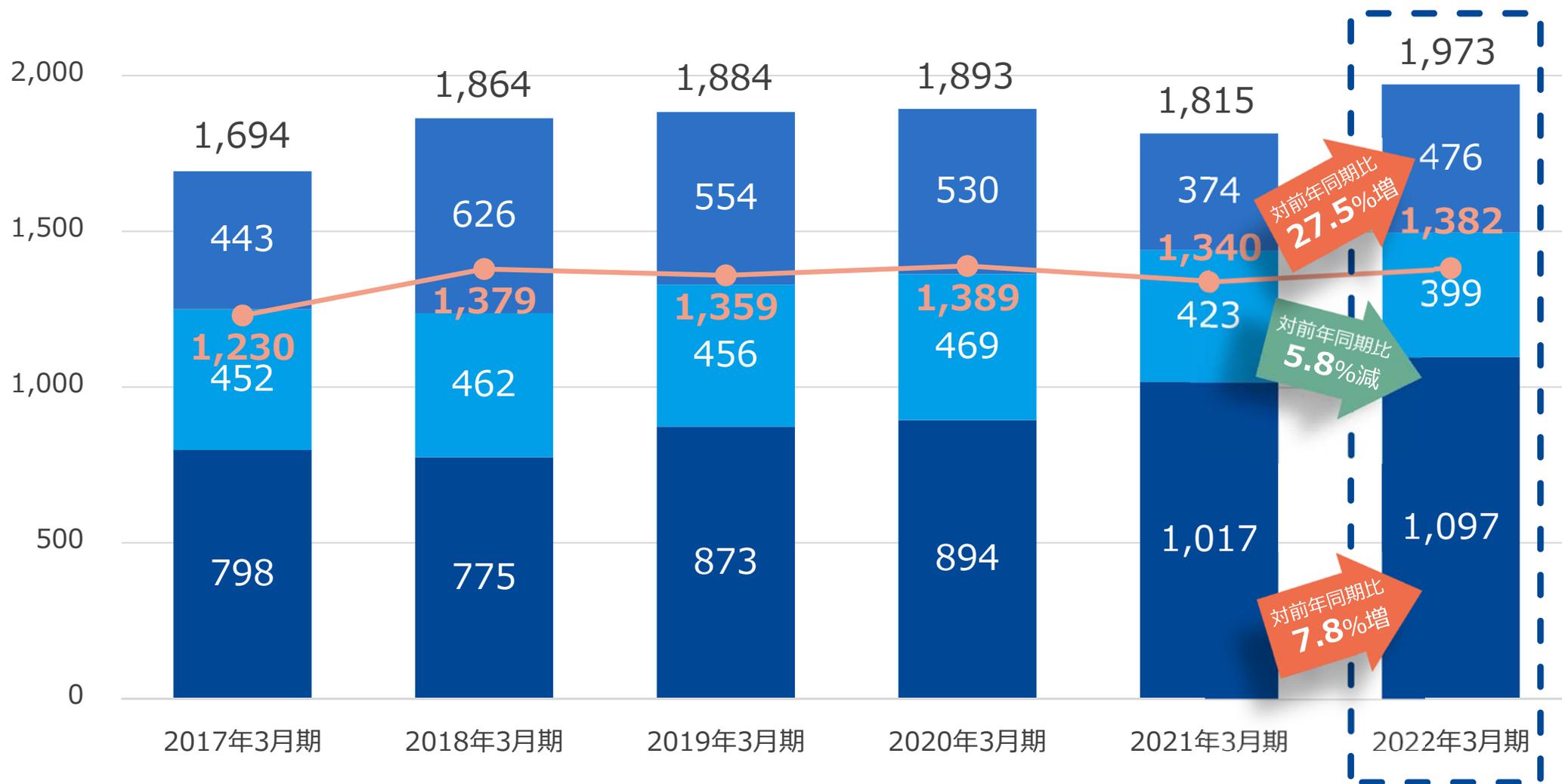
# 2022年3月期業績概要

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	1,815	100.0%	1,973	100.0%	+8.7%
売上総利益	1,136	62.6%	1,264	64.1%	+11.2%
販売費及び 一般管理費	1,002	55.2%	1,045	53.0%	+4.3%
営業利益	134	7.4%	218	11.1%	+63.0%
経常利益	150	8.3%	276	14.0%	+83.5%
当期純利益	101	5.6%	169	8.6%	+66.8%

# 売上高・固定費の推移

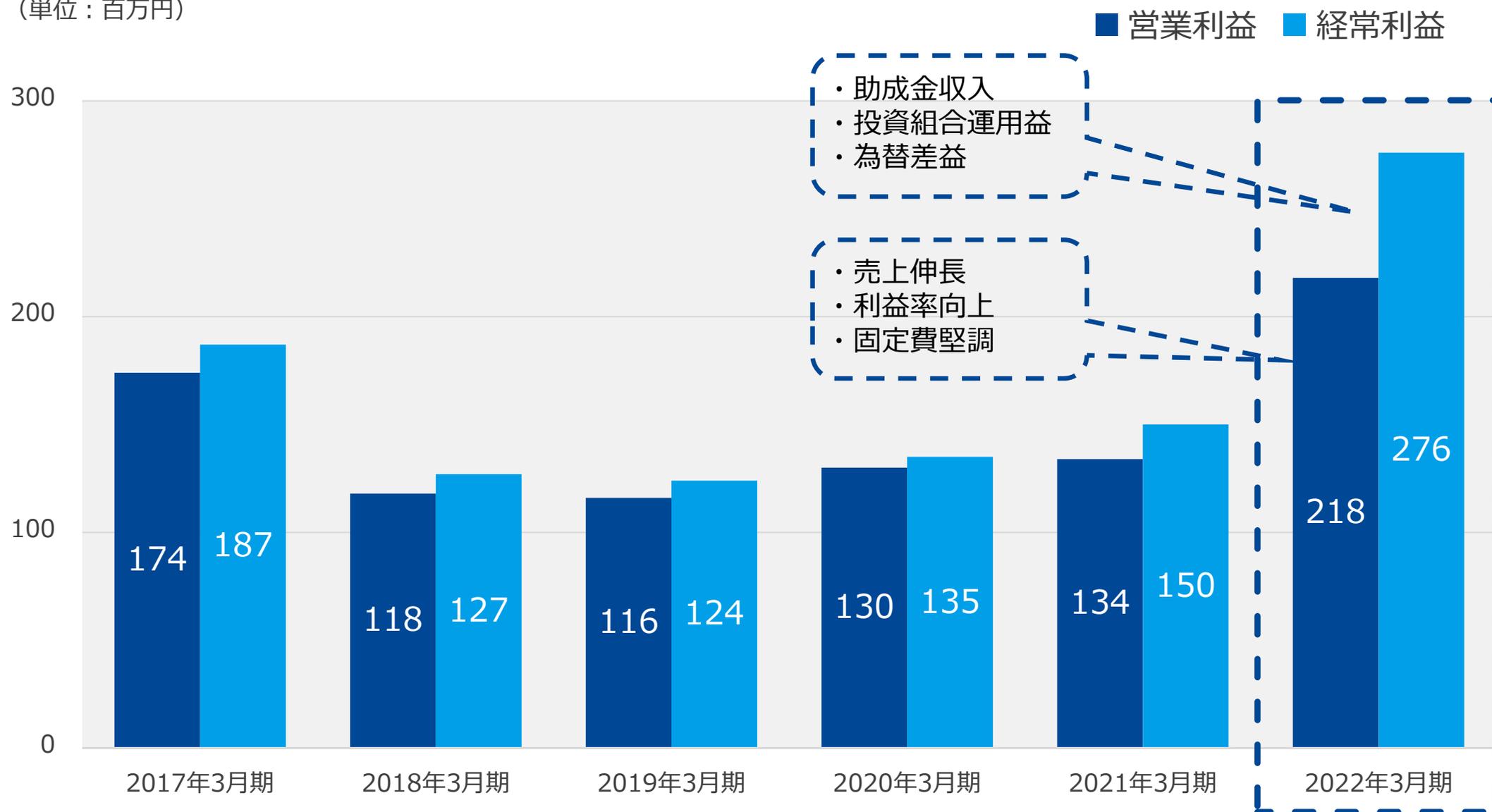
(単位：百万円)

■ 製品売上 ■ サービス売上 ■ ソリューション売上 ● 固定費



# 利益の推移

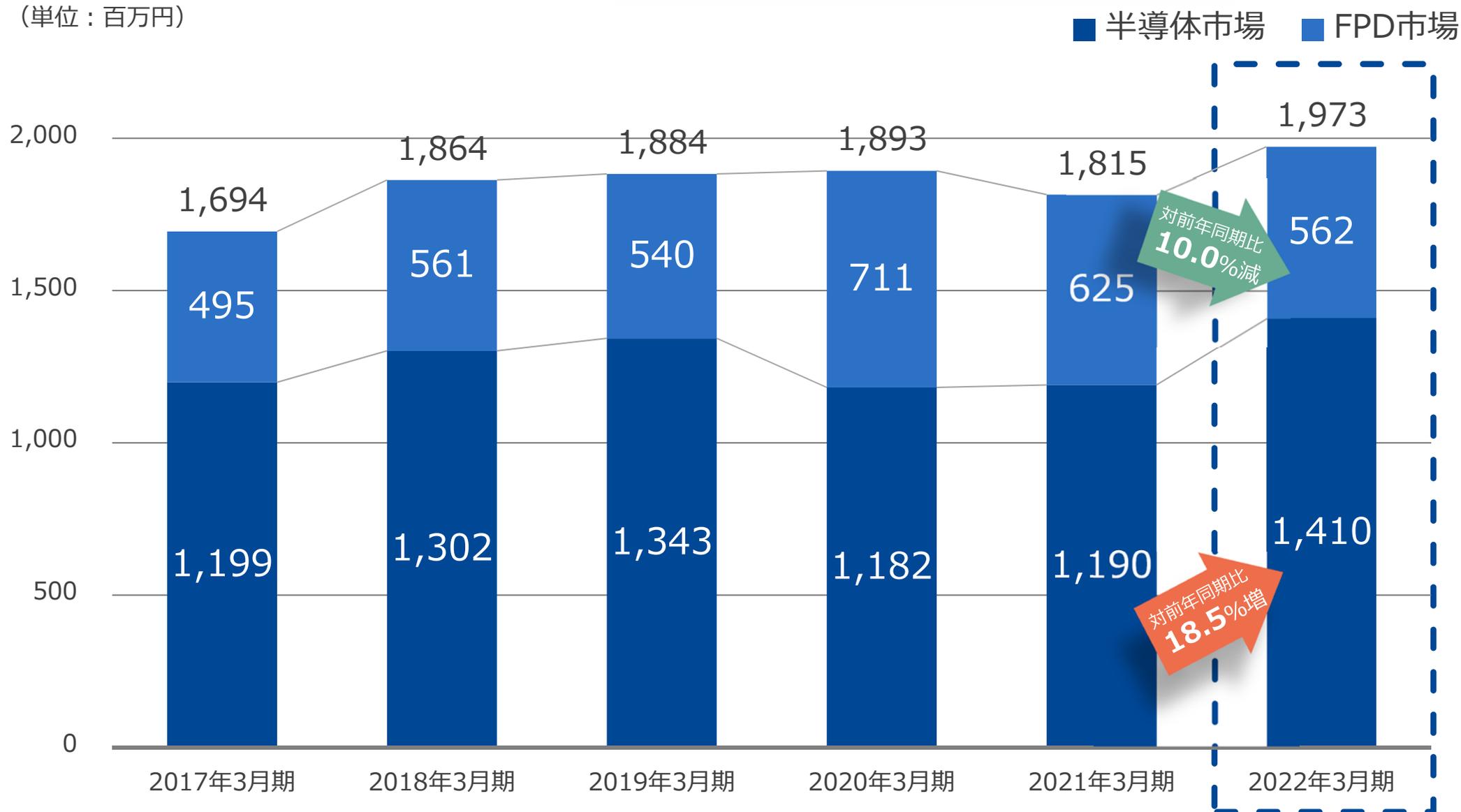
(単位：百万円)



# 市場別売上高（半導体/FPD※）

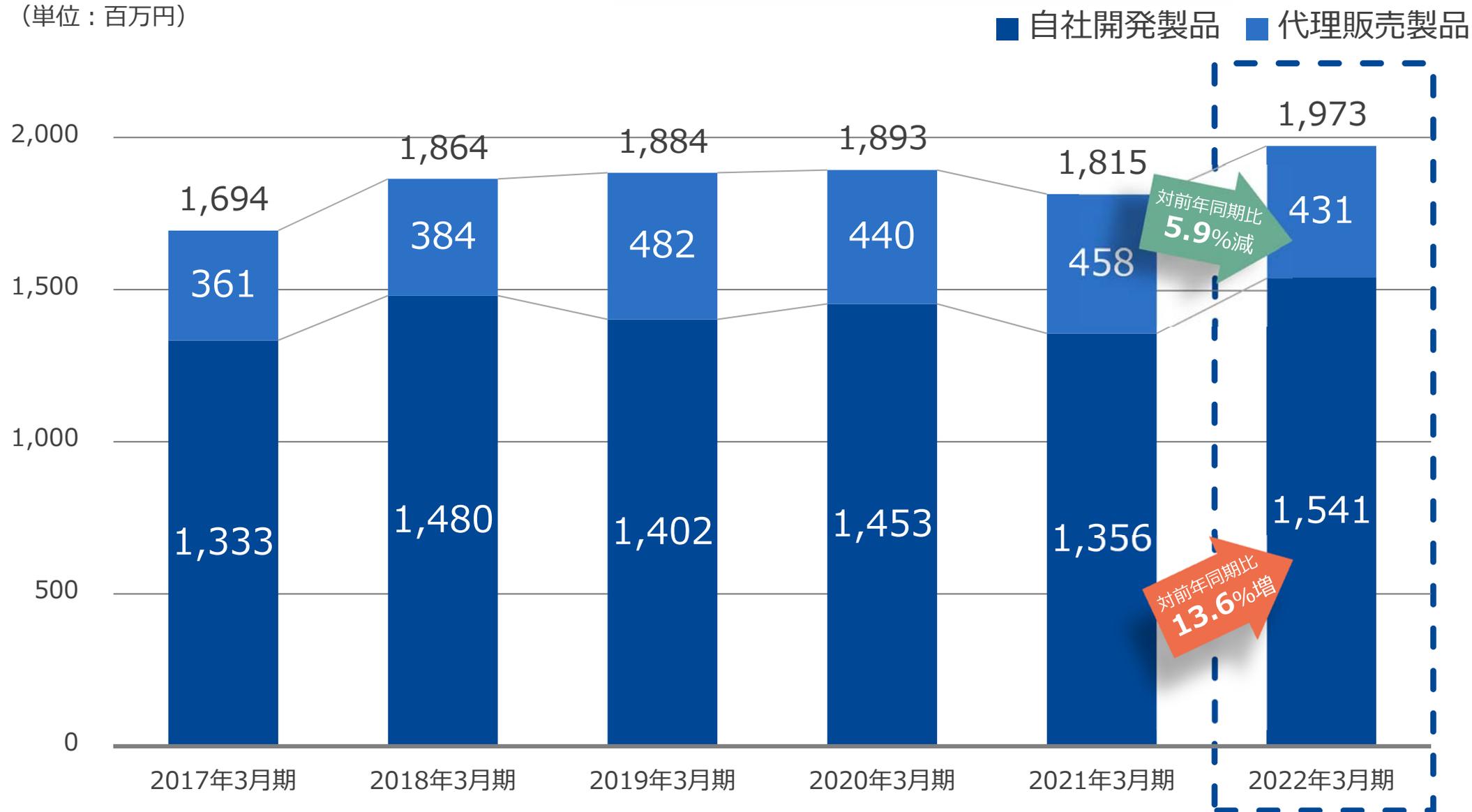
※ FPD : Flat Panel Display etc.

(単位：百万円)



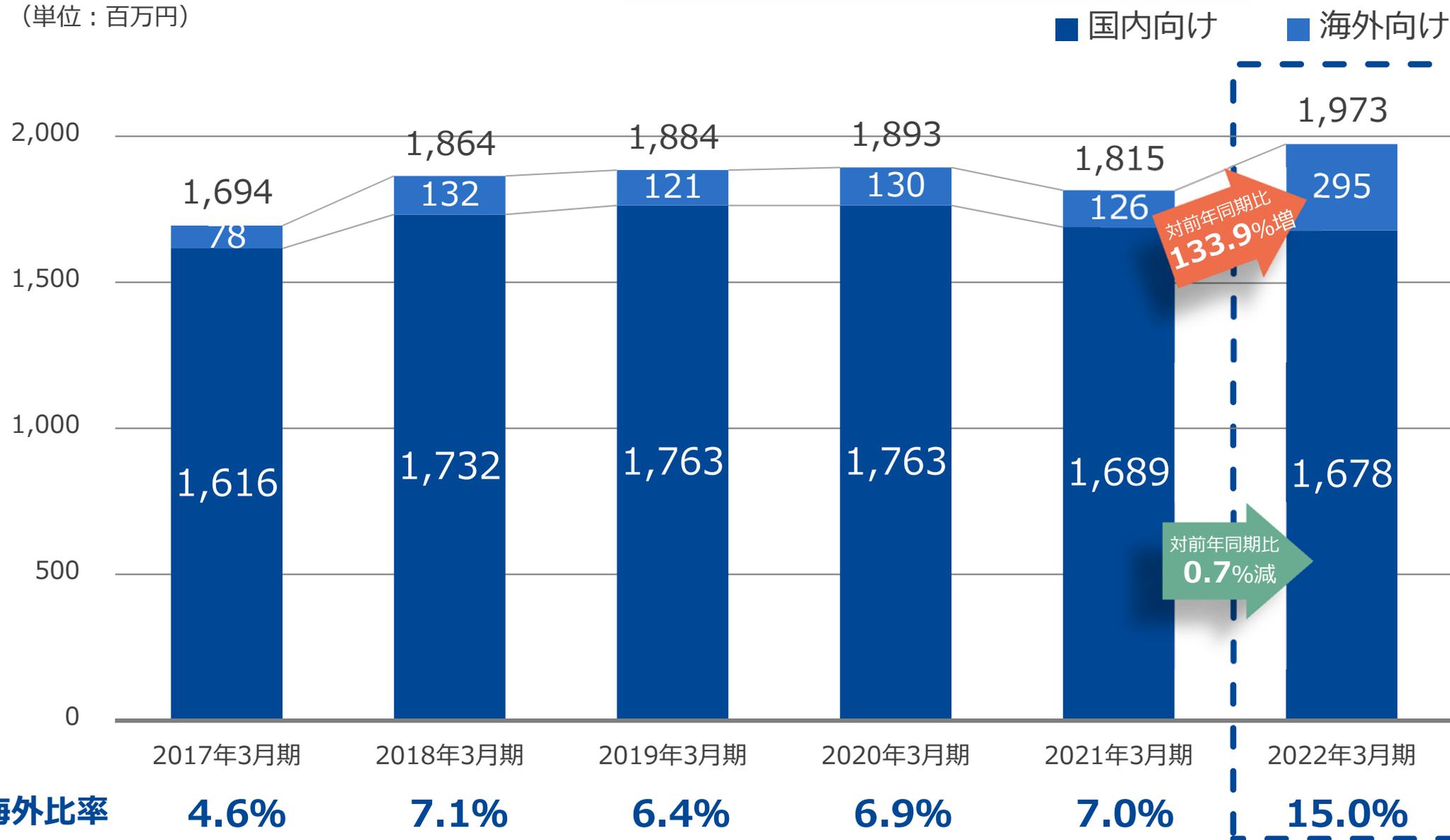
# 製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

（単位：百万円）



# 販売先別売上高（国内/海外）

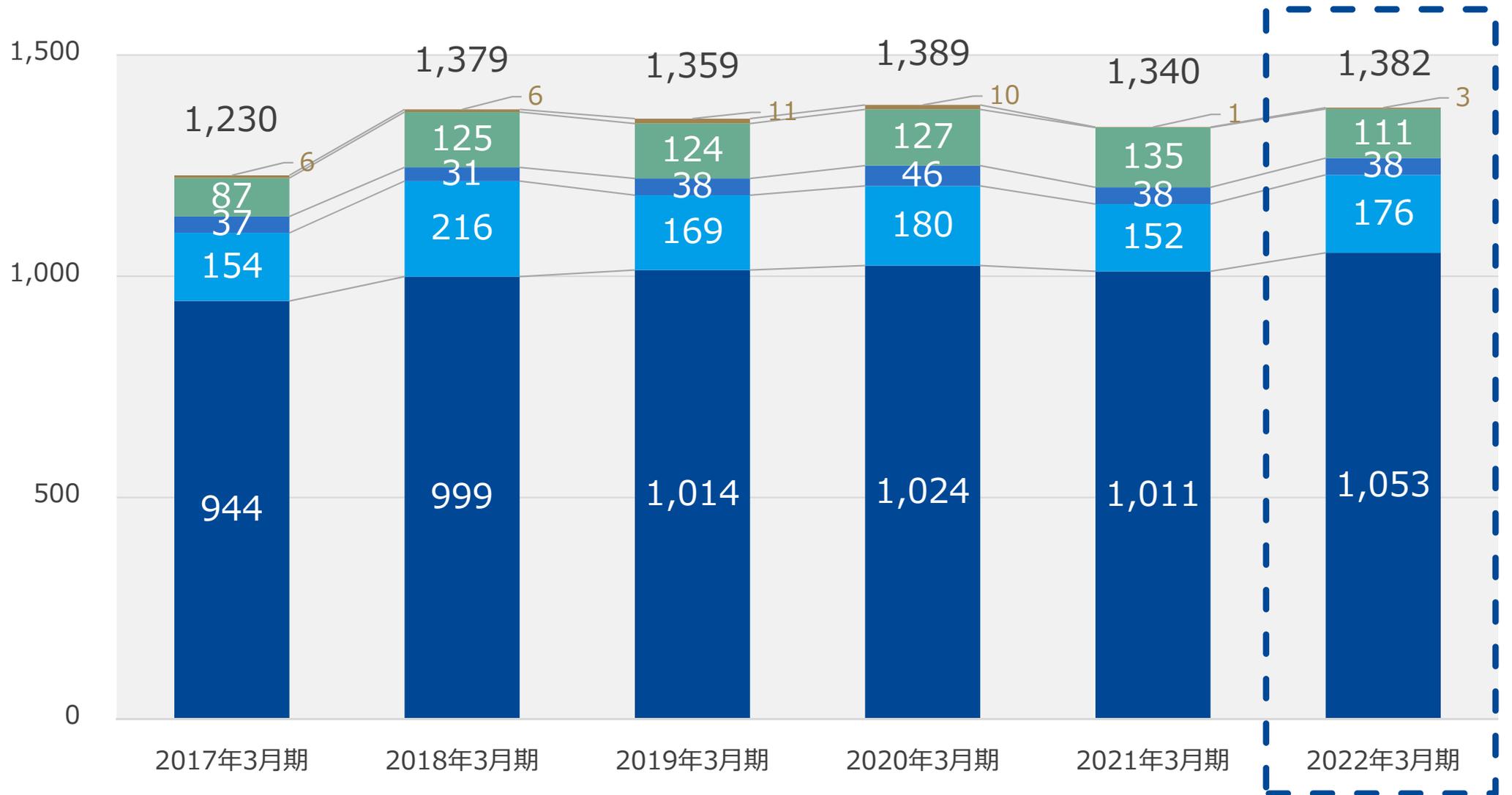
(単位：百万円)



# 固定費内訳

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ その他 ■ 外注費 ■ 建物関係・減価償却費 ■ 販売促進・広告宣伝費



# 貸借対照表 — 前期末比 —

(単位：百万円)	2021年 3月末	2022年 3月末	差異		2021年 3月末	2022年 3月末	差異
<b>(資産の部)</b>					<b>(負債の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>	3,142	4,055	913	<b>I 流動負債</b>	418	1,214	795
1 現金及び預金	2,713	3,456	742	1 買掛金	31	107	75
2 受取手形	1	0	△ 1	2 未払金	42	55	12
3 電子記録債権	172	186	13	3 未払費用	31	41	9
4 売掛金	171	367	196	4 未払法人税等	34	66	32
5 仕掛品	3	3	△ 0	5 前受金	189	833	644
6 原材料	1	1	0	6 預り金	8	16	7
7 前払費用	20	23	2	7 賞与引当金	76	87	10
8 その他	57	17	△ 39	8 その他	3	7	3
	3,142	4,055	913	<b>II 固定負債</b>	6	6	—
<b>II 固定資産</b>	209	275	65	資産除去債務	6	6	—
1 有形固定資産	46	45	△ 1	<b>負債合計</b>	424	1,220	795
2 無形固定資産	7	6	△ 1	<b>(純資産の部)</b>			
3 投資その他の資産	155	224	68	<b>I 株主資本</b>	2,927	3,110	183
(1)投資有価証券	79	108	28	1 資本金	760	761	0
(2)繰延税金資産	33	69	35	2 資本剰余金	891	892	0
(3)その他	41	46	5	3 利益剰余金	1,303	1,485	182
				4 自己株式	△ 28	△ 28	△ 0
				<b>II 新株予約権</b>	0	0	0
<b>資産合計</b>	3,352	4,331	979	<b>純資産合計</b>	2,927	3,110	183
				<b>負債純資産合計</b>	3,352	4,331	979

# キャッシュフロー計算書 – 前年同期比 –

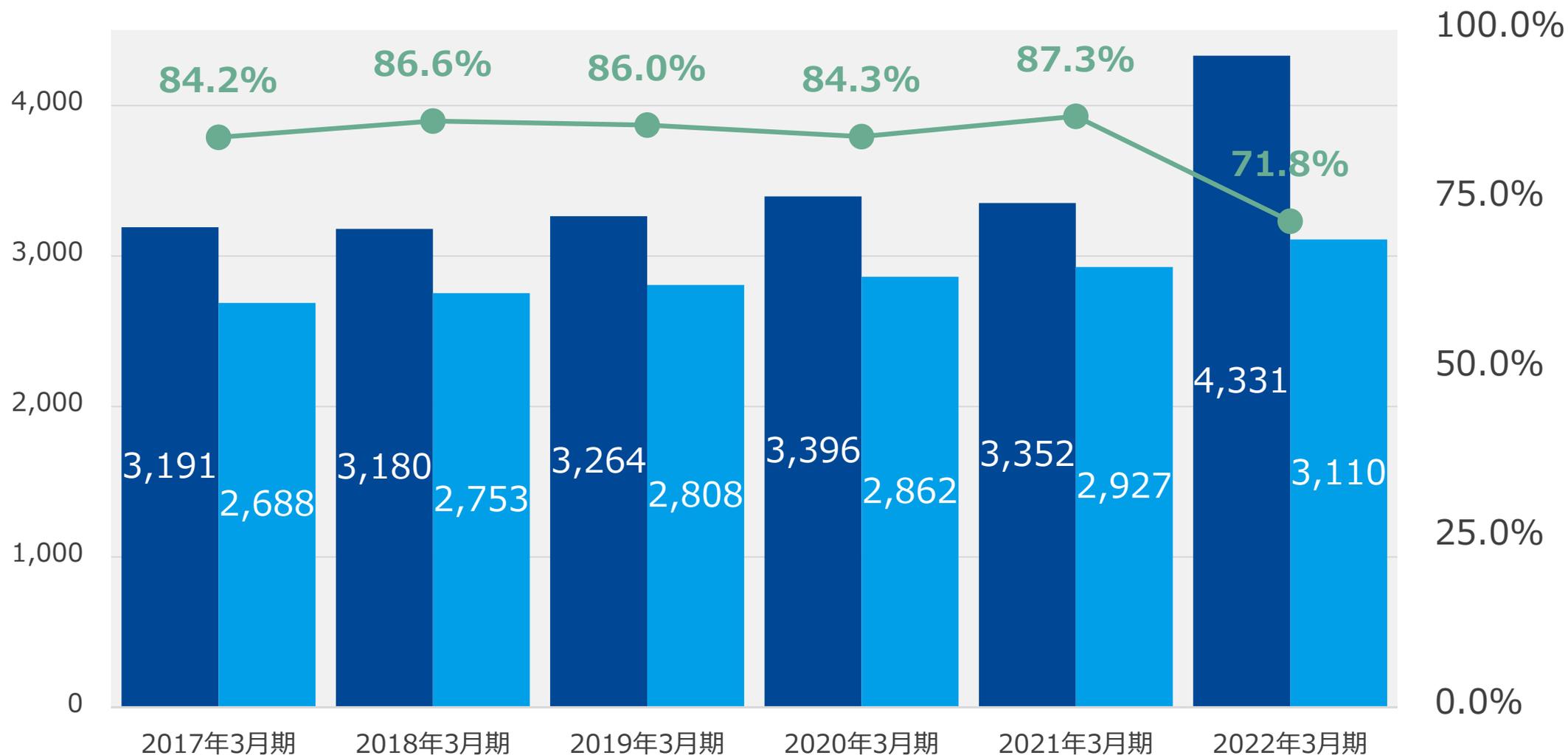
(単位：百万円)

	2020年4月1日 ～ 2021年3月31日	2021年4月1日 ～ 2022年3月31日	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	62	795	733
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 33	△ 19	13
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36	△ 37	△ 0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1	0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 7	739	747
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,793	1,785	△ 7
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,785	2,525	739

# 総資産・自己資本

(単位：百万円)

■ 総資産 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



# トピックス

## ◆ 主力製品の機能拡張を継続

### ◆ SX-Meister Ver.12.0リリース

- ・ アナログLSIの設計自動化機能を拡張
- ・ パワーデバイス向け自動レイアウトツールを新発売

## ◆ 大型商談の獲得

### ◆ 海外顧客との大型商談を獲得（約8億円/5年間）

## ◆ 産学連携の促進

### ◆ 有明高専と「マッチングラボ」を設立 ～EDA開発技術者の育成に向けて～

1. 2022年3月期 決算概要

2. 2023年3月期 計画・業績予想

# 2023年3月期のポイント

売上高：21億円（対前年比6.4%増）

営業利益：2.3億円（同5.1%増）、経常利益：2.8億円（同1.3%増）

コア製品の競争力・販売力を強化（アナログ、パワー向け）

海外市場向け売上の拡大・ステップアップ

デバイス設計受託サービスの拡大

# 2023年3月期業績概要

(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期		
	実績	売上高比	計画	売上高比	対前期比
売上高	1,973	100.0%	2,100	100.0%	+6.4%
売上総利益	1,264	64.1%	1,256	59.8%	△0.6%
販売費及び 一般管理費	1,045	53.0%	1,026	48.9%	△1.9%
営業利益	218	11.1%	230	11.0%	+5.1%
経常利益	276	14.0%	280	13.3%	+1.3%
当期純利益	169	8.6%	173	8.3%	+2.7%

## ◆ 半導体関連

- ◆ 世界的な「半導体不足」はまだまだ続く
- ◆ 製造設備への投資活動は続伸
- ◆ 設計設備への投資はようやく拡大基調へ

## ◆ FPD(Flat Panel Display)等

- ◆ テレビ・IT機器用は需要が低迷
- ◆ 車載・産業機器用は堅調
- ◆ 新技術パネル・異形表示パネルの研究開発は活況

# 課題と施策（1）

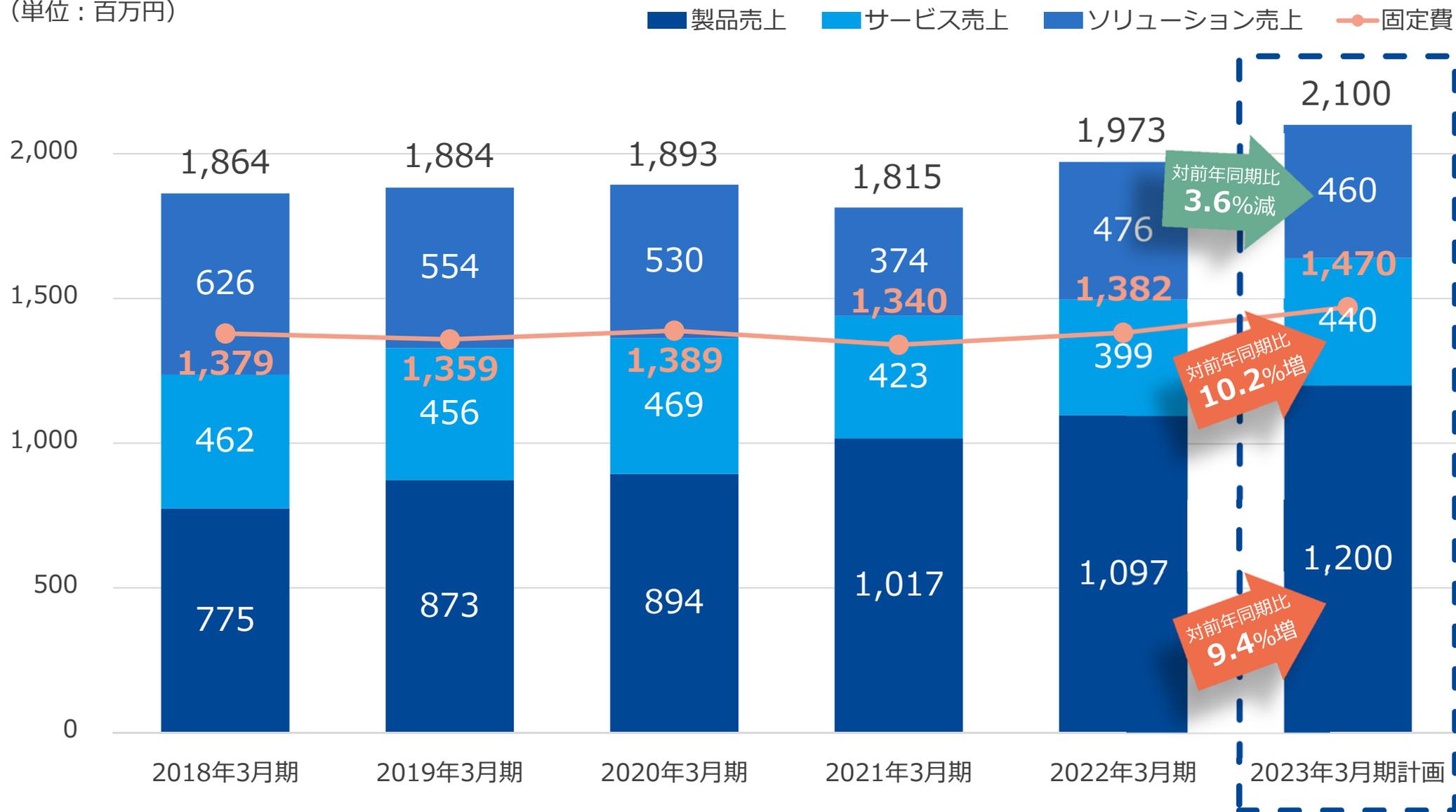
- ◆ コア製品の競争力・販売力を強化
  - ◆ 重点テーマに向けた開発を継続
    - ・ アナログ設計自動化環境(ACC)の拡張
    - ・ パワーデバイス向け設計自動化機能の拡張
  - ◆ 研究開発活動の強化：新製品開発を加速
    - ・ 社内の新技術開発体制を刷新
    - ・ 外部技術の導入・活用を促進
  - ◆ 顧客との対話を促進・新顧客層の開拓
    - ・ ホームページをリニューアル：情報発信力を強化
    - ・ リモート時代に即したハイブリッド販促活動の促進
    - ・ 半導体向け製造装置・材料業界への進出

## 課題と施策（2）

- ◆ 海外市場向け売上の拡大・ステップアップ
  - ◆ 海外パートナーとの連携強化：代理店体制の見直し
  - ◆ 「プラットフォーム」戦略の促進
  
- ◆ デバイス設計受託の拡大
  - ◆ 重点顧客の深耕・開拓
  - ◆ 設計ツールのブラッシュアップ：EDA開発との連携
  - ◆ 新規顧客・新技術の開拓

# 売上高・固定費の推移

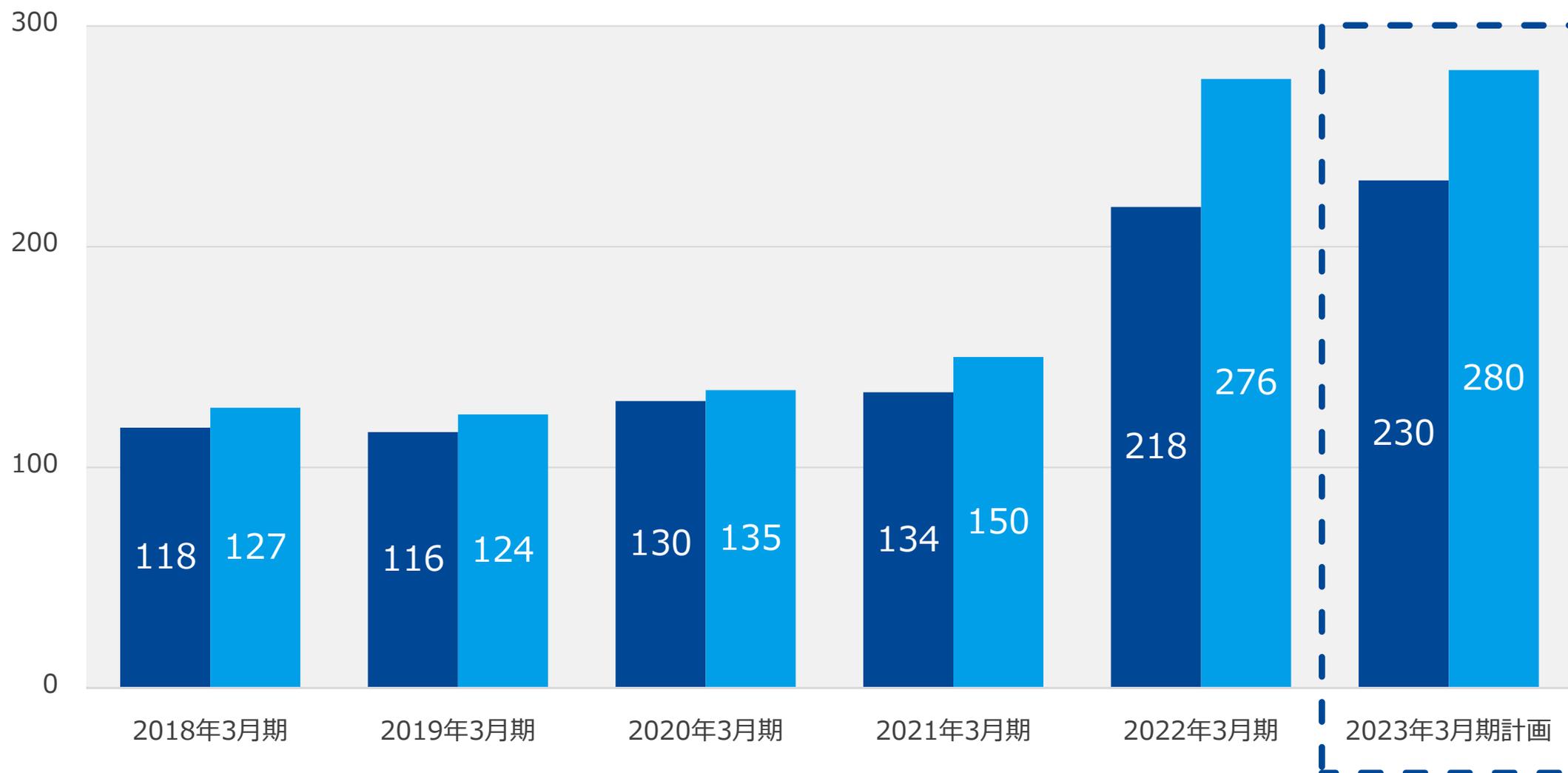
(単位：百万円)



# 利益の推移

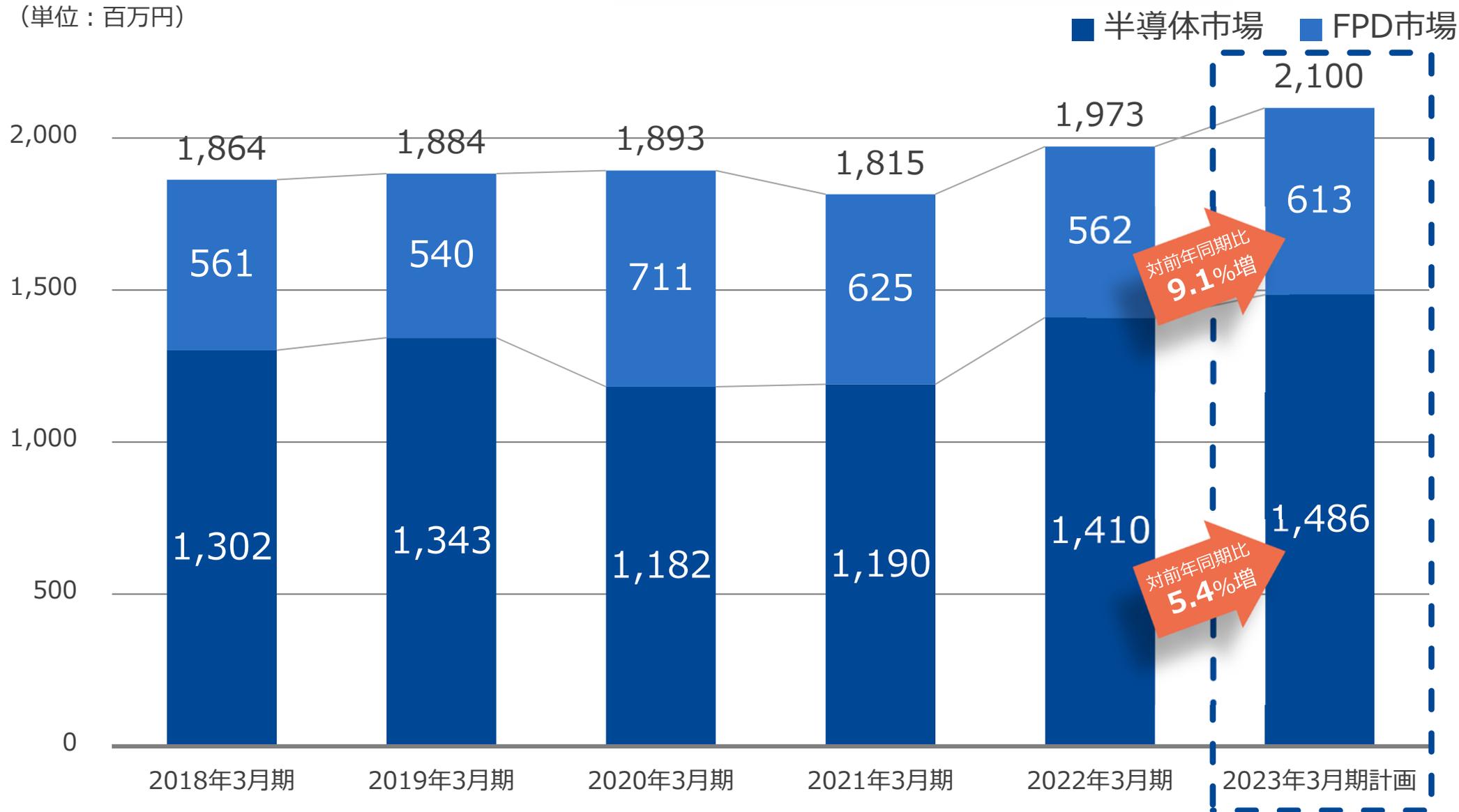
(単位：百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益



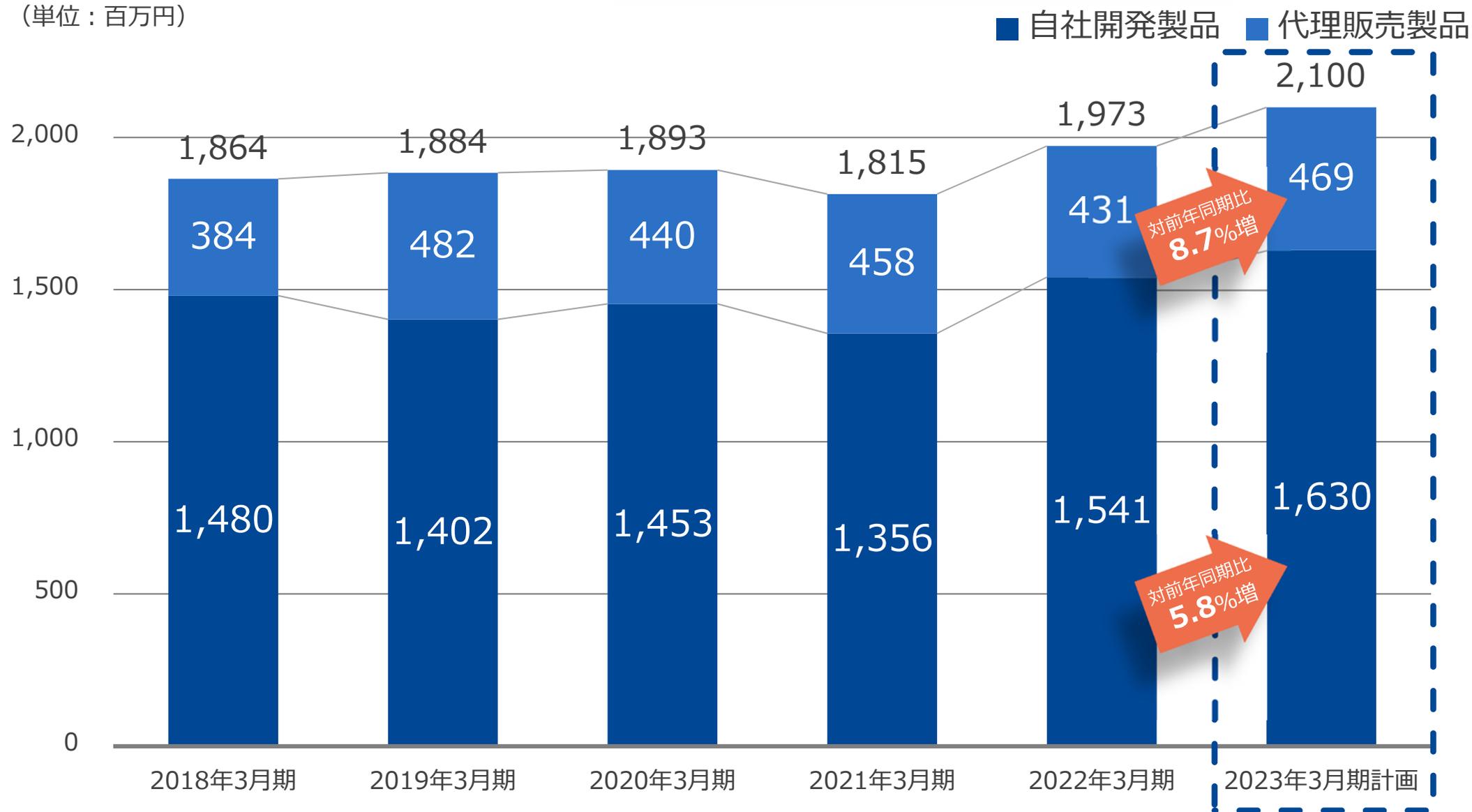
# 市場別売上高（半導体/FPD）

（単位：百万円）



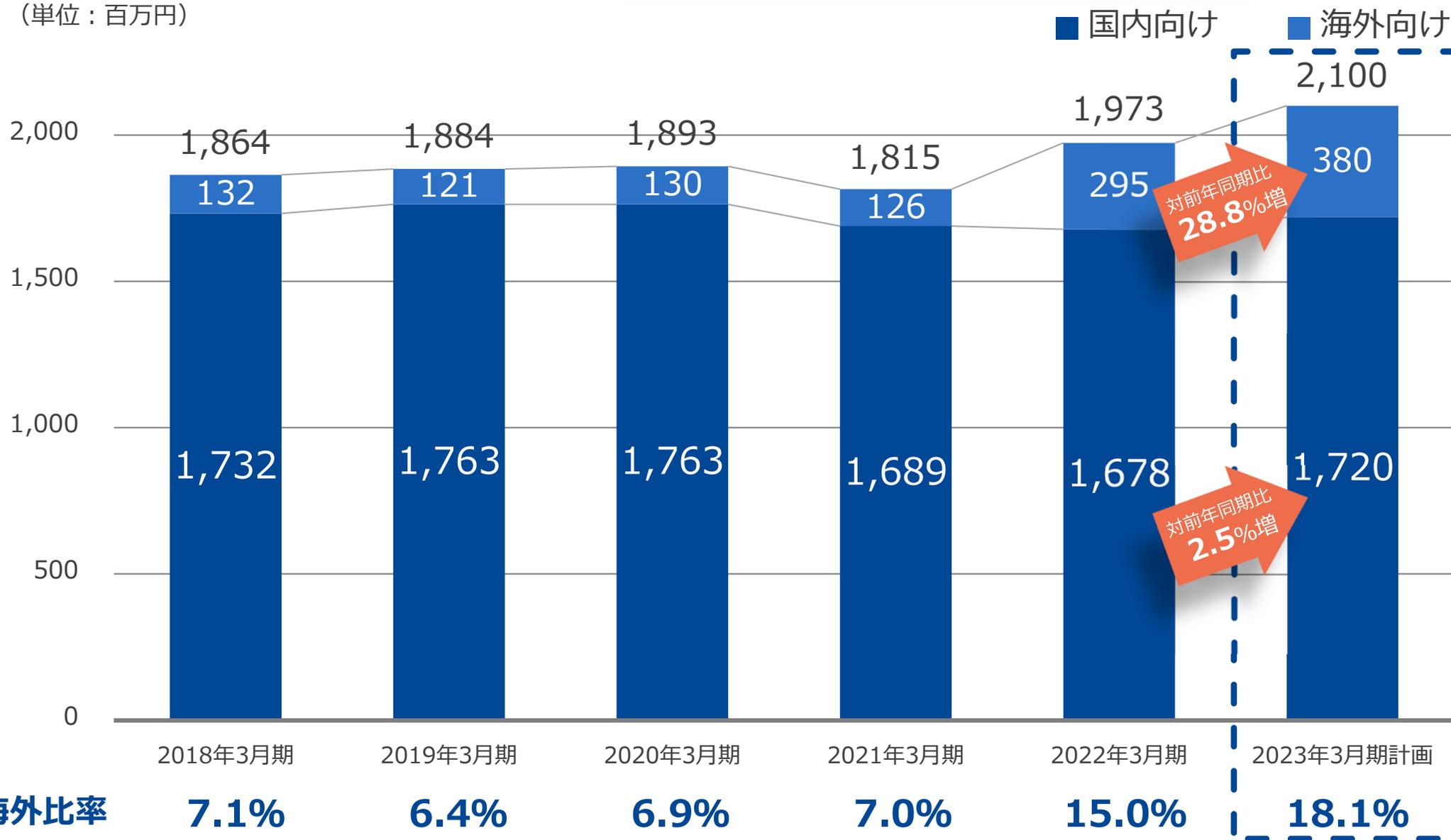
# 製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

（単位：百万円）



# 販売先別売上高（国内/海外）

（単位：百万円）



**ご清聴ありがとうございました**